

- ・調査対象 全国26,494社
- ・調査方法 インターネット調査
- ・有効回答数 11,621社
- ・調査時期 2022年9月15日～9月30日

世の中を読むデータ

# DX推進企業のリスクリング実施率は 81.8%

DX（デジタルトランスフォーメーション）の時代に欠かせないとされるリスクリング。今回は、わが国の企業におけるリスクリングの実施状況についてみてみたい。

## 従業員の能力やスキルの再開発

そもそもリスクリングとは何だろうか。経済産業省で開催された『第2回デジタル時代の人材政策に関する検討会』（2021年2月26日）の資料には、「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること」と提示されている。

具体的には、デジタル化に伴う事業環境の変化に対応しつつ、新たな事業や価値の創出に必要なスキルを獲得することだ。

つまり、職場を離れることが前提のリカレント教育や個人による“学び・学び直し”とは異なり、企業が組織的に行なう従業員の能力やスキルの再開発に向けた取組みがリスクリングである。

## 新しいデジタルツールの学習……………56.8%

DXの推進別にみたリスクリング実施率は、〈DX取組〉企業が81.8%、〈DX未取組〉企業は

32.2%となっており、DX推進に積極的な企業ほど高くなっている。

実施内容をみると、〈DX取組〉企業では、「新しいデジタルツールの学習」56.8%、「eラーニング、オンライン学習サービスの活用」35.3%、「経営層による新しいスキルの学習、把握」35.2%などが上位にあげられている。

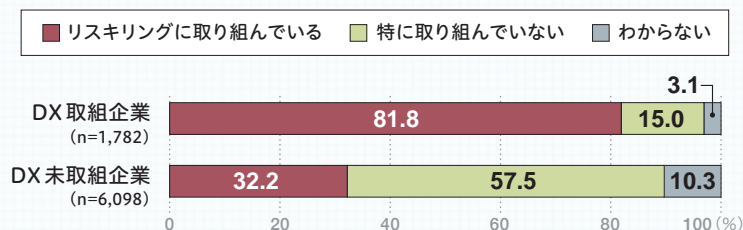
一方、〈DX未取組〉企業は、「経営層による新しいスキルの学習、

把握」（41.5%）が最も高く、必要なスキルに対する経営層の理解が優先課題として認識されているようだ。

デジタル時代に対応した従業員の能力やスキルの再開発は、多くの企業にとって喫緊の課題である。自社の事業戦略実現に向けた人材開発、育成が求められる。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

## リスクリング実施率



## リスクリングの取組内容（上位5位）（n=5,503、複数回答）

